

## Ⅲ 土 壤

### 1 土壤概説

#### 1.1 山地及び丘陵地地域の土壤（林地土壤）

本年度の調査図幅は「蒲郡」、「師崎」の2図幅である。

蒲郡図幅の主な山は、標高305.7mの三ヶ根山から三ヶ根スカイライン沿いの三角点(332m)を結ぶ稜線を最高とし、三河湾に向かって眺望をひらき、西に向って順次標高を低くしている山体と蒲郡図幅南東隅の衣笠山(278.4m)、丘陵地としては海岸に面したほぼ100m以下の丘陵地、そして佐久島日間賀島等の島々の丘陵地等である。

地質は、主に領家変成岩類、領家花崗岩類、秩父古生層、新第3紀層等である。

一方師崎図幅では、知多半島先端の100mをやゝこす丘陵性山地がみられるほかは、100m以下の丘陵地でしめられている。地質は殆んど新第3紀の常滑層群と師崎層群でしめられる。

土壤は殆んどが褐色森林土であるが、知多半島の南東端に赤黄色土がみられる。これらは更に地質、母材、断面形態等により、次の2土壤群、6土壤統群21土壤統に区分した。

| ( 土 壤 群 ) | ( 土 壤 統 群 ) | ( 土 壤 統 )       |
|-----------|-------------|-----------------|
| 褐色森林土     | {           | 乾性褐色森林土壤 (黄褐色系) |
|           |             | 村 積 山 1 統       |
|           |             | 柏 原 1 統         |
|           |             | 友 国 統           |
|           |             | 佐 久 統           |
|           |             | 知 多 1 統         |
|           |             | 本 宮 山 統         |
|           |             | 野 間 統           |
|           |             | 内 海 1 統         |
|           |             | 西 浦 統           |
|           |             | 浦 郡 一 色 統       |
|           |             | 額 田 1 統         |
|           |             | 幡 豆 統           |
|           |             | 蔵 王 山 1 統       |
| 衣 笠 山 統   |             |                 |
| 褐色森林土     | {           | 乾性褐色森林土壤 (赤褐色系) |
|           |             | 南 乙 川 統         |
|           |             | 篠 島 統           |
|           |             | 知 多 2 統         |
| 褐色森林土     | {           | 内 海 2 統         |
|           |             | 豊 浜 1 統         |
|           |             | 豊 浜 2 統         |
| 赤黄色土      | {           | 乾性黄色土壤          |
|           |             | 黄色土壤            |

褐色森林土の乾性褐色森林土壤 (黄褐色系) は、蒲郡図幅では、同図幅北部の領家花崗岩類、領家変成岩類地域に、岡崎図幅に続いて出現し、師崎図幅では、地質・母材による差はあるが同図幅の林地の大部分に出現する。

乾性褐色森林土壤は、蒲郡図幅では、三ヶ根山頂から西にのびる稜線の南北面の領家変成岩類の地域を主体に出現し、更には、西浦町から東幡豆にかけて

の領家花崗岩類の海岸部や渥美半島の秩父古生層地域に出現する。師崎図幅では常滑層群で円礫をともなう林地に出現する。

乾性褐色森林土壌（赤褐色系）は、蒲郡図幅では吉良町の海岸部の林地、篠島の領家花崗岩類の地域に主に出現するが、師崎図幅では、極く小面積で出現するのみである。

褐色森林土壌（黄褐色系・赤褐色系）は、蒲郡図幅では、図示できない面積で沢筋に帯状にみられるが、師崎図幅では、半田図幅から続く、図幅北部および南部の師崎層群に褐色森林土壌（黄褐色系）が出現する。

赤黄色土の乾性黄色土壌は蒲郡図幅では、領家変成岩類（雲母片岩）の地域に図示できない程度にみられるが、師崎図幅では、知多半島南東先端部に出現し、適潤性の黄色土壌も沢筋に出現する。

乾性褐色森林土壌（黄褐色系）は林野庁の分類による乾性黄色系褐色森林土 yBB が大部分であり、乾性褐色森林土壌は同分類による乾性褐色森林土 BB が、また、乾性褐色森林土壌（赤褐色系）も同分類による乾性赤色系褐色森林土 rBB が大部分を占める。

黄褐色系褐色森林土壌は、同じ分類による適潤性黄色系褐色森林土 yBD および適潤性黄褐色系褐色森林土（偏乾亜型）yBD(d)である。

また、乾性黄色土壌も同分類による乾性黄色土 YB であり、黄色土壌も同分類による適潤性黄色土 YD である。

土壌の生産力は蒲郡図幅の沢筋を除いては、経済的な林業経営を期待することはできないが、土壌侵蝕防止生活環境保全、水資源涵養等、公益面に果している役割は大きいので、森林の取扱いには充分注意しなければならない。

## 1.2 台地及び低地域の土壌（農地土壌）

知多半島中央部の第三紀丘陵地及び北部の丘陵地辺縁部の洪積台地は大部分が農地土壌として区分される。表層は比較的砂の多い壤質土壌であるが、下層はち密で粘質な黄褐～赤色土壌である。主に樹園地として利用されており、かんきつ類の栽培が多いが、近年、キウイフルーツも増加している。

半島南部は第三紀中新世師崎層群の低山地からなり、谷間の河川沿いに僅かに沖積地が分布している。師崎層の低山地は固結水成岩（凝灰質砂岩、頁岩等）からなり、地形が複雑で急峻である。昭和51年から国営農地開発事業南知多地区として南知多、美浜の両町に多く残されている山林、原野と地域に点在した既耕地を含めて602haの農地造成が行われている。既に造成が完了した南部地区では、ビワ、雑かん、キャベツ等が栽培されており、一大生産団地を形成している。

水田は大小河川の流域平坦部や丘陵地に囲まれた谷間に分布しており粘質なグライ土壌となっている。また、伊勢湾、知多湾に面して散在する海成沖積は砂質土壌が多く、主に水田として利用されている。

矢作川下流の干拓地には砂質～壤質なグライ土壌が分布し、主に水田として利用されているが、衣浦湾沿いの碧海干拓地は畑として利用されている。

矢作川氾濫原による沖積地と東部は三河山地の南端にあたり、海岸部まで石英及び雲母片岩より成る丘陵地が迫り、海岸部は断崖が多くなっている。

矢作川沖積地は強グライ～灰色土壌に分類される比較的湿田の性格の強い土壌が多く、土性は砂～壤質なものが多い。沖積地北部の比較的地下水位の低いところでは畑も分布する。南部海岸沿いの沖積地に、かつては塩田が多く存在したが現在はカーネーション、バラ等の施設栽培や鰻の養殖が盛んに行われている。また、沖積地北部の河川と丘陵地に挟まれた低湿地帯には黒泥土壌が一部分布している。

三河山間の火成岩地域や花崗岩地域には褐色森林土壌が分布し、主にかんきつ類等の樹園地として利用されている。

洪積台地及び丘陵緩傾斜地には赤黄色土が分布しており、土壌は腐植に乏しく粘質なものが多い。利用形態は樹園地及び葉菜類、根菜類の普通畑となっている。

三河山地東側の洪積平坦部に広く分布する黒ボク土は水田として利用されている。土壌は水の影響で酸化沈積物の斑紋が認められ、多湿黒ボク土壌として区分される。

山地に挟まれた河川沿いの沖積地は水田として利用され、砂質～壤質で灰色低地土壤が多い。

佐久島は全島が堆積岩（第三紀中新世の地層）よりなっており、緩やかな傾斜面は、かんきつ類等の樹園地及びタマネギ、ソラマメ等の野菜畑であるが、平坦部には水田も存在する。土壤は壤質～粘質で保肥力も比較的高い。

田原町の渥美湾沿いの洪積地には黒ボク土壤、灰色台地土壤、赤黄色土壤が断片的に分布する。いずれも粘質～強粘質な土壤であり畑として利用されている。また、仁崎川沿いの沖積水田は壤質なグライ水田となっている。

本図幅内に分布する農地土壤は土色、腐植層、グライ層、堆積様式、母材等によって8土壤群に区分された。なお、断面形態の相違によって、更にこれらは16土壤統群、48土壤統に細分された。この結果は土壤細説の項の土壤統一覧に示されている。

## 2 土壤細説

### 2.1 山地及び丘陵地地域の土壤（林地土壤）

#### 2.1.1 乾性褐色森林土壤（黄褐系）

10YRの色相を呈する土壤で、主として母材の違いにより次の8統に区分した。

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 村 積 山 統 | 花崗岩類を主な母材とするもの  |
| 柏 原 1 統 | 片麻岩類を主な母材とするもの  |
| 友 国 統   | 〃               |
| 佐 久 統   | 砂岩・礫岩を主な母材とするもの |
| 知 多 1 統 | 砂・粘土を主な母材とするもの  |
| 本 宮 山 統 | 礫・砂を主な母材とするもの   |
| 野 間 統   | 粘土を主な母材とするもの    |
| 内 海 1 統 | 頁岩を主な母材とするもの    |

### 2.1.2 乾性褐色森林土壌

7.5 Y Rの色相を呈する土壌で、主として母材の違いにより次の7統に区分した。

|           |                |
|-----------|----------------|
| 西 浦 統     | 花崗岩類を主な母材とするもの |
| 蒲 郡 一 色 統 | 〃              |
| 額 田 1 統   | 片麻岩類を主な母材とするもの |
| 幡 豆 統     | 〃              |
| 蔵 王 山 1 統 | チャートを主な母材とするもの |
| 衣 笠 山 統   | 石灰岩を主な母材とするもの  |
| 古 布 統     | 礫・粘土を主な母材とするもの |

### 2.1.3 乾性褐色森林土壌（赤褐系）

5 Y Rの色相を呈する土壌で、主として母材の違いにより次の2統に区分した。

|         |                |
|---------|----------------|
| 南 乙 川 統 | 花崗岩類を主な母材とするもの |
| 篠 島 統   | 花岩岩類を主な母材とするもの |

### 2.1.4 褐色森林土壌（黄褐系）

1 0 Y Rの色相を呈する土壌で、主として母材の違いにより次の2統に区分した。

|         |                 |
|---------|-----------------|
| 知 多 2 統 | 粘土・砂を主な母材とするもの  |
| 内 海 2 統 | 泥岩・砂岩を主な母材とするもの |

### 2.1.5 乾性黄色土壌

2.5 Yの色相を呈する土壌で、次の1統のみである。

|         |                  |
|---------|------------------|
| 豊 浜 1 統 | 頁岩質燧灰岩を主な母材とするもの |
|---------|------------------|

## 2.1.6 黄色土壌

2.5 Yの色相を呈する土壌で、次の1統のみである。

豊 浜 2 統      凝灰岩を主な母材とするもの

## 村積山 1 統

図幅の北東部に、岡崎図幅に接続して出現する土壌統で、花崗岩類を母材とし、丘陵地をなす。10YRの色相を有する乾性褐色森林土壌(黄褐色系)である。蒲郡図幅に出現するものは、腐植の侵入がいくぶん深い土層は浅い。

大部分は、針広混交林の天然林であるが、一部はヒノキの造林地もみられる。クロマツは、マツクイムシの被害木もかなりみられる。

### 代表断面 (地点番号 ①)

位 置 蒲郡市西迫町

海 抜 高 100m 傾斜 20° 方向 N30°W

地 質 ・ 地 形 領家花崗岩類

北東から南東に延びる尾根の東側斜面中部で、平行斜面

母材・堆積様式 花崗岩類、 匍行土

林 況 上層：ユズリハ、ヤマモモ、ヒノキ、クロマツ、シイ  
(樹高約10~20m)  
中層：ユズリハ

下層：テイカカズラ、ネズミモチ、ヒサカキ

断 面 状 態 L: 3cm ユズリハ、クロマツ、ヤマモモ等の落葉

F: 2cm //

H: 1cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界       | 土性   | 礫             | 土色                  | 腐植 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |            | 備考 |
|----|----------|----------|------|---------------|---------------------|----|----|-----|----|----|----|------------|----|
|    |          |          |      |               |                     |    |    |     |    |    | 草木 | 木本         |    |
| A  | 12       | 漸変<br>判然 | 砂質壤土 | 中~小角礫<br>あり   | 褐<br>(10YR 4/4)     | 含む | 粒状 | 粗   | 中  | 半乾 | なし | 小~中根<br>富む |    |
| B  | 22       |          | 〃    | 小角礫<br>あり     | 黄褐<br>(10YR 5/6)    | 乏し | 粒状 | 中   | 弱  | 〃  | 〃  | 小~中根<br>あり |    |
| C  | +66      |          | 〃    | 小角礫<br>すこぶる多い | にぶい黄褐<br>(10YR 6/4) | 乏し | なし | 密   | 弱  | 〃  | 〃  | 小根<br>あり   |    |

## 柏原1統

蒲郡図幅の中央部北端にあって、県道深溝蒲郡線以西、国道247号線以北、三ヶ根山以北の地域に出現する10YRの色相を有する乾性褐色森林土壌である。土性は砂質壤土で土層は浅い。

大部分が天然性の針広混交林あるいは治山事業によるクロマツ林であるが、沢筋や北面などにヒノキ造林地がみられる。

### 代表断面 (地点番号 ②)

位 置 蒲都市金平町

海 抜 高 100m 傾斜 20° 方向 N8°W

地質・地形 領家変成岩類

東西に走る尾根の東側、平行斜面、中腹部

母材・堆積様式 片麻岩類、匍行土

林 況 上層：フジ、ヤマモモ、ヤマザクラ (樹高約 10~15m)

中層：シシヤンボ、ヒサカキ

下層：ツバキ

断面状態 L: 2cm ヤマザクラ、ヤマモモ等の落葉

F: 1cm //

H: 1cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界 | 土性   | 礫  | 土色                | 腐植 | 構造 | 粗密度   | 粘り | 水湿 | 根  |        | 備考 |
|----|----------|----|------|----|-------------------|----|----|-------|----|----|----|--------|----|
|    |          |    |      |    |                   |    |    |       |    |    | 草木 | 木本     |    |
| A  | 8        | 判然 | 砂質壤土 | なし | 黒 褐<br>(10YR 2/3) | 富む | 粒状 | 粗     | 弱  | 半乾 | なし | 中~小根あり |    |
| B  | 8        |    | 〃    | なし | 暗 褐<br>(10YR 3/4) | 含む | 粒状 | 中     | 〃  | 〃  | 〃  | 中~小根あり |    |
| C  | 84+      |    | 〃    | なし | 明黄褐<br>(10YR 6/8) | 乏し | なし | すこぶる密 | 〃  | 〃  | 〃  | なし     |    |

## 友国統

蒲郡図幅中央北よりあって、主要地方道西尾・幸田線以南で主に吉良町地内に出現する土壤で、10YRの色相を有する乾性褐色森林土壤である。

土壤は全般に乾燥して、生産力が低く、土性は砂質壤土を主体としている。沢筋には部分的に造林されており、良好な生育をしている所もみられる。

### 代表断面 (地点番号 ③)

位置 幡豆郡吉良町大字友国

海拔高 80m 傾斜 35° 方向 S40°W

地質・地形 中生代 領家変成岩類

東から西に走る尾根から南東に分岐した小尾根の南東向斜面中腹

母材・堆積様式 片麻岩類、匍行土

林況 上層：クロマツ(12齡級 樹高約15m)(松くい虫被害木多し)  
ヤマザクラ(12齡級 樹高14m。他にクヌギ、ヤブニッケイ)

中層：クロバイ、アラカン、ネズミモチ、ヒサカキ

下層：ヒメユズリハ、アケビ、ヒサカキ

断面状態 L: 2.0cm ヤブニッケイ、ヤマザクラ等の落葉枝

F: 1.0cm //

H: 2.0cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界             | 土性   | 礫         | 土色                   | 腐植 | 構造   | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |            | 備考 |
|----|----------|----------------|------|-----------|----------------------|----|------|-----|----|----|----|------------|----|
|    |          |                |      |           |                      |    |      |     |    |    | 草木 | 木本         |    |
| A  | 8        | 明瞭<br>漸変<br>明瞭 | 壤土   | 中角礫<br>含む | 暗褐～褐<br>(10YR 3-4/4) | 含む | 粒・細粒 | 粗   | 弱  | 乾  | なし | 小根<br>あり   |    |
| B  | 47       |                | 砂質壤土 | 〃         | 褐<br>(10YR 4/4)      | 含む | 堅果   | 中   | 極弱 | 半乾 | 〃  | 細・中根<br>あり |    |
| C  | 45+      | -              | -    | 基岩        | -                    | -  | -    | -   | -  | -  | 〃  | -          |    |

## 佐久統

蒲郡幅南西部の三河湾洋上の佐久島、日間賀島に出現する10YRの色相を有する乾性褐色森林土壌である。

標高は32.5mを最高とするが、比較的なだらかな地形である。島を占める主な樹林は、クロマツを主体に、常緑広葉樹のカクレミノ、トベラ、ヤマモモである。

### 代表断面 (地点番号 ④)

位 置 幡豆郡一色町佐久島

海 抜 高 26m 傾斜 13° 方向 N72°E

地 質・地 形 新第三紀師崎層群、東西にのびる尾根の北東向斜面上

母材・堆積様式 礫岩・砂岩・泥岩

林 況 上層：クロマツ(10齡級 樹高約17m)  
 中層：カクレミノ、ネズミモチ 3.5m  
 下層：ヒサカキ、ヤブニッケイ、カクレミノ、キヅタ、ヤブコウジ、ツタウルシ

断 面 状 態 L: 1 cm クロマツ落葉等  
 F: 1 cm //  
 H: な し //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界 | 土性 | 礫  | 土色                | 腐植  | 構造  | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根    |      | 備考 |
|----|----------|----|----|----|-------------------|-----|-----|-----|----|----|------|------|----|
|    |          |    |    |    |                   |     |     |     |    |    | 草本   | 木本   |    |
| A  | 5        | 明瞭 | 埴土 | なし | 黒褐<br>(10YR 3/2)  | 富む  | カベ状 | 中   | 強  | 半乾 | 小根あり | 小根あり |    |
| B  | 95+      |    | 埴土 | なし | 明黄褐<br>(10YR 6/6) | 乏しい | カベ状 | 中   | 強  | 半乾 | なし   | 中根あり |    |

# 知多1統

師崎図幅の西北端で新第3紀常滑層群のうち砂・粘土等を母材とする地域に分布し、10YRの色相を呈する乾性褐色森林土壌(黄褐系)である。土性は壤土～微砂質壤土で、礫は含まず、全土層は比較的浅い。林相は大部分が天然生の針広混交林で林地生産力は低い。

## 代表断面 (地点番号 ⑤)

位置 知多郡美浜町大字河和字菅苅  
 海拔高 45m 傾斜 12° 方向 S38°W  
 地質・地形 常滑層、ほど東へ走向する尾根から南西に派生する小尾根の頂部凸型斜面  
 母材・増積様式 砂・粘土、残積土  
 林況 上層：アカマツ(樹高約8m、胸高直径16cm)、ヤマモモ(樹高約7m、胸高直径約12cm)の天然生の針広混交林  
 中層：ヒサカキ(樹高約5m、胸高直径約6cm)  
 下層：カクレミノ稚樹、地床：ササ、コシダ等  
 断面状態 L：3cm アカマツ、ヤマモモ、ヒサカキ等の落葉  
 F：1cm  
 H：なし

| 層位 | 厚さ<br>cm  | 層界           | 土性    | 礫  | 土色                  | 腐植 | 構造   | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |              | 備考 |
|----|-----------|--------------|-------|----|---------------------|----|------|-----|----|----|----|--------------|----|
|    |           |              |       |    |                     |    |      |     |    |    | 草木 | 木本           |    |
| A  | 15<br>~22 | 判然<br>漸<br>変 | 壤土    | なし | にぶい黄褐<br>(10YR 4/3) | 含む | 細粒・粒 | 粗密  | 強  | 半乾 | なし | 中根含む<br>小根あり |    |
| B  | 12<br>~16 |              | 微砂質壤土 | 〃  | にぶい黄橙<br>(10YR 6/3) | なし | 堅果   | 中   | 〃  | 〃  | 〃  | 小根あり         |    |
| C  | 66<br>~70 |              | 〃     | 〃  | 灰黄<br>(2.5Y 7/2)    | 〃  | なし   | 頗る密 | 零  | 乾  | 〃  | 〃            |    |

# 本宮山統

師崎図幅の北部に分布する洪積世武豊層の礫・砂等を母材とする地域で、半田図幅につづいて出現する乾性褐色森林土壌（黄褐色系）である。A層は浅いが全土層は比較的深い。ほど表層は角礫を含むが下層に行くにつれ円礫が多くなり、10YRの色相を有する砂質壤土である。

大部分が針広混交林で生産力は低い。

## 代表断面 (地点番号 ⑥)

位置 知多郡美浜町大字布土字菅刈

海拔高 60m 傾斜 18° 方向 N70°W

地質・地形 武豊層、北にのびる小尾根の北西凸型斜面の上腹

母材・堆積様式 礫・砂、残積土

林況 上層：アカマツ、コナラ（樹高6～8m）

中層：ヒサカキ、ネジキ等（樹高3～5m）

下層：カクレミノ（0.3m）

断面状態 L: 3cm アカマツ、ヒサカキ、ネジキ等の落葉・落枝

F: 0.5cm //

H: なし

| 層位             | 厚さ<br>cm | 層界     | 土性   | 礫                    | 土色                        | 腐植              | 構造  | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |          | 備考           |
|----------------|----------|--------|------|----------------------|---------------------------|-----------------|-----|-----|----|----|----|----------|--------------|
|                |          |        |      |                      |                           |                 |     |     |    |    | 草木 | 木本       |              |
| A-<br>(B)      | 8        | 漸<br>変 | 砂質壤土 | 細半角礫あり               | 褐〜にぶい黄褐<br>(10YR 4.4/5.4) | 含む<br>乏し        | 細粒  | 中   | 弱  | 半乾 | なし | 小根<br>富む |              |
| B <sub>1</sub> | 37       |        | 〃    | 細半角礫<br>含む<br>小半角礫あり | 黄褐<br>(10YR 5/6)          | 乏し              | (塊) | 〃   | 〃  | 〃  | 〃  | 小根<br>あり |              |
| B <sub>2</sub> | 55+      |        | 〃    | 〃                    | 小円礫<br>含む                 | 〃<br>(10YR 5/6) | 〃   | なし  | 〃  | 〃  | 〃  | 〃        | 大根あり<br>小根あり |

## 野間統

節崎図幅のほぼ中央の60m以下の丘陵地で、洪積世・野間層の粘土等を母材とする地域に主として出現する土壌統で、10YRの色相を有する乾性褐色森林土壌(黄褐色)である。

A層は浅く、全土層も比較的浅く、土性は埴土で礫は含まず粘りが強く、下層はカベ状で生産力は低い。大部分が天然生の針広混交林であるが、マツ類は松くい虫の被害を受け枯損木がみられる。

### 代表断面

(地点番号 ⑦)

位 置 知多郡美浜町大字河和字姥入反  
 海 抜 高 50m 傾斜 18° 方向 S85°W  
 地質・地形 野間層、北にのびる尾根の南西面や、凸型斜面上の腹  
 母材・堆積様式 粘土、残積土  
 林 況 上層：アカマツ(樹高3m、胸高直径8cm)、ヒサカキ(樹高約3m)  
 地床：ササ  
 断面状態 L： 3cm アカマツ、ヒサカキ、ササ等の落葉葉枝  
 F： 0.5cm  
 H： なし

| 層位  | 厚さcm      | 層界       | 土性 | 礫  | 土色                  | 腐植 | 構造   | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |          | 備考 |
|-----|-----------|----------|----|----|---------------------|----|------|-----|----|----|----|----------|----|
|     |           |          |    |    |                     |    |      |     |    |    | 草木 | 木本       |    |
| A   | 5<br>~8   | 判然<br>渐变 | 埴土 | なし | にぶい黄褐<br>(10YR 5/3) | 乏し | 粒・堅果 | 頗る粗 | 極強 | 半乾 |    | 小根<br>富む |    |
| B   | 52<br>~55 |          | 〃  | 〃  | にぶい黄橙<br>(10YR 6/4) | 〃  | 上部堅果 | 中   | 〃  | 〃  | なし | 小根<br>含む |    |
| B-C | 40+       |          | 〃  | 〃  | 〃<br>(10YR 7/3)     | 〃  | カベ   | 密   | 〃  | 〃  | 〃  | 小根<br>あり |    |

# 内海 1 統

師崎図幅の南部に分布する新第 3 紀師崎層のうち頁岩等を母材とする地域に出現し、2.5 Y の色相を有する乾性黄色土壌である。A 層は浅く全土層も 40 ~ 50 cm で基岩に達する。

土性は微砂質壤土で乾燥し易く、生産力は低い。大部分は、天然生の針広混交林であるが、このうち針葉樹のマツ類はマツクイムシの被害をうけ、枯損木が多くみられる。

## 代表断面

(地点番号 ⑧)

位 置 知多郡兩知多町大字内海字曾田  
 海 拔 高 50 m 傾 斜 14° 方 向 S75°W  
 地 質 ・ 地 形 師崎層、北西に走向する尾根から西方に派生した小尾根の頂部緩斜面  
 母材・堆積様式 頁岩、残積土  
 林 況 上層：コナラ（樹高約 11 m）  
 中層：ウバメガシ、ハゼノキ、モチノキ、下層：モチノキ  
 地床：コンダ、シロダモ、シヤノヒゲ、ヒメユズリハ  
 断 面 状 態 L： 2~3 cm コナラ、ウバメガシ、ヒサカキ等落葉が密に堆積  
 F： 僅か  
 H： 0.5~1 cm

| 層位 | 厚さ cm     | 層界             | 土性    | 礫    | 土色                            | 腐植         | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根            |              | 備考 |
|----|-----------|----------------|-------|------|-------------------------------|------------|----|-----|----|----|--------------|--------------|----|
|    |           |                |       |      |                               |            |    |     |    |    | 草木           | 木本           |    |
| A  | 8<br>~10  | 明瞭<br>漸変<br>明瞭 | 微砂質壤土 | 角礫あり | 暗褐<br>(10YR 3/4)              | 含粒弱堅<br>む果 | 粗  | 中   | 半乾 | -  | 大根含む<br>小根富む | 菌糸含む         |    |
| B  | 15<br>~17 |                | 〃     | 〃    | 黄褐<br>(10YR 5/6-8)            | 乏堅<br>し果   | 中  | 〃   | 〃  | -  | 小根含む<br>中根あり | -            |    |
| BC | 12<br>~15 |                | 〃     | 〃    | にぶい黄橙<br>~明黄褐<br>(10YR 6/4-6) | 〃          | なし | 〃   | 〃  | 〃  | -            | 中根あり<br>小根あり | -  |
| 基岩 |           |                |       |      |                               |            |    |     |    |    |              |              |    |

## 西浦統

蒲郡図幅の東側、西浦半島及び東幡豆沿岸の丘陵地や近くの島々に出現する土壌で、花崗岩類を母材とし、7.5YRの色相を有する乾性褐色森林土壌である。

土性は、壤土～埴質壤土で、土層は全般的に残い。

林相は、一部ヒノキ、スギの人工林もみられるが、クロマツを主体とする針広混交天然林である。クロマツはマツクイムシの被害によりかなりなくなっている。

### 代表断面 (地点番号 ㊹)

位 置 蒲郡市西浦町  
 海 抜 高 50 m 傾斜 20° 方向 S36°E  
 地 質・地 形 領家花崗岩類  
 丘陵の上部 平行斜面  
 母材・堆積様式 花崗岩類、 匍行土  
 林 況 上層：クロマツ (樹高約20m)  
 中層：カクレミノ、ヒサカキ、ヤブニッケイ  
 下層：ヤブニッケイ、トベラ、テイカカズラ  
 断 面 状 態 L: 7 cm クロマツの落葉等  
 F: 3 cm //  
 H: 2 cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界     | 土性       | 礫  | 土色               | 腐植     | 構造     | 粗密度 | 粘り | 水湿     | 根  |                   | 備考 |
|----|----------|--------|----------|----|------------------|--------|--------|-----|----|--------|----|-------------------|----|
|    |          |        |          |    |                  |        |        |     |    |        | 草木 | 木本                |    |
| A  | 16       | 漸<br>漸 | 壤土       | なし | 褐<br>(7.5YR 4/3) | 含<br>む | 粒<br>状 | 粗   | 中  | 半<br>乾 | なし | 小中根<br>すこぶる<br>富む |    |
| B  | 24       |        | 埴質<br>壤土 | なし | 褐<br>(7.5YR 4/4) | 含<br>む | 塊<br>状 | 中   | // | //     | // | 小中根<br>あり         |    |
| C  | 60+      |        | //       | なし | 褐<br>(7.5YR 4/6) | 乏<br>し | な<br>し | //  | // | //     | // | 小根<br>あり          |    |

# 蒲郡一色統

蒲郡図幅の東北部の丘陵に出現する花崗岩類を母材とする。7.5 Y Rの色相を有する乾性褐色森林土壌である。

土性は壤土で、土層は全般的に厚い。

林相は、一部スギ、ヒノキの人工林もみられるが、クロマツ、シラカシ、ヤマモモ等の混交林であり、マツクイムシの被害マツもかなりみられる。

## 代表断面 (地点番号 ⑩)

位 置 蒲郡市一色町  
 海 抜 高 80 m 傾斜 32° 方向 N45°W  
 地 質・地 形 領家花崗岩類  
 丘陵の東側中腹部 平行斜面  
 母材・堆積様式 花崗岩類、 匍行土  
 林 況 上層：クロマツ、スギ、ヒノキ、シラカシ、 ヤマモモ (樹高約10~15m)  
 中層：ヤブツバキ、アラカシ  
 下層：ヒサカキ、カクレミノ、サルトリイバラ  
 断 面 状 態 L： 5 cm スギ、ササ等の落葉枝  
 F： 2 cm “  
 H： -

| 層位 | 厚さ cm | 層界   | 土性 | 礫     | 土色                 | 腐植                 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根    |            | 備考   |
|----|-------|------|----|-------|--------------------|--------------------|----|-----|----|----|------|------------|------|
|    |       |      |    |       |                    |                    |    |     |    |    | 草本   | 木本         |      |
| A  | 16    | 漸変判然 | 壤土 | なし    | 暗 褐<br>(7.5YR 3/3) | 富む                 | 粒状 | 粗   | 中  | 半乾 | 小根あり | 小~中根<br>富む |      |
| B  | 38    |      | “  | 細角礫あり | 褐<br>(7.5YR 4/4)   | 含む                 | 粒状 | 中   | “  | “  | なし   | 小根<br>富む   |      |
| C  | 46+   |      | “  | “     | 細角礫あり              | 明 褐<br>(7.5YR 5/8) | 乏し | なし  | 密  | “  | “    | なし         | 小根あり |

## 額田 1 統

蒲郡図幅の中央部北端にあって、主要地方道西尾幸田線以北に出現する土壌で、7.5 YRの色相を有する乾性褐色森林土壌であって、岡崎図幅に続いている。A層は浅く、土性は壤土又は砂質壤土である。

アカマツを主林木とした天然性の針広混交林や治山事業によるクロマツ林等でおおわれているが、松くい虫被害を受けている。

### 代表断面 (地点番号 ⑩)

位 置 額田郡幸田町大字逆川  
 海 抜 高 120 m 傾斜 32° 方向 S40°W  
 地 質 ・ 地 形 傾家変成岩類  
 南東から北西に伸びる尾根の南西中腹斜面  
 母材・堆積様式 片麻岩、 匍行土  
 林 況 上層：アカマツ (8 齢級 樹高約 8~10 m)  
 シイ、ソヨゴ  
 中層：コナラ、ヒサカキ  
 下層：コンダ  
 断 面 状 態 L: 2.0 cm アカマツ、シイ、ソヨゴの落葉枝  
 F: 4.0 cm //  
 H: 1.0 cm //

| 層位             | 厚さ<br>cm | 層界             | 土性                | 礫                | 土色                 | 腐植     | 構造               | 粗密度 | 粘り     | 水湿 | 根        |          | 備考 |
|----------------|----------|----------------|-------------------|------------------|--------------------|--------|------------------|-----|--------|----|----------|----------|----|
|                |          |                |                   |                  |                    |        |                  |     |        |    | 草木       | 木本       |    |
| A              | 3        | 判然<br>漸変<br>漸変 | 壤土                | 小角礫<br>あり        | 暗 褐<br>(7.5YR 3/4) | 含<br>む | 粒<br>・<br>細<br>粒 | 粗   | 零      | 乾  | なし       | 小根<br>富む |    |
| B <sub>1</sub> | 20       |                | 中角礫<br>富む         | 褐<br>(7.5YR 4/4) | 〃                  | 粒      | 中                | 弱   | 半<br>乾 | 〃  | 小根<br>あり |          |    |
| B <sub>2</sub> | 17       |                | 中角礫<br>すこぶる<br>富む | 〃<br>(7.5YR 4/4) | 〃                  | なし     | 中                | 〃   | 〃      | 〃  | 〃        | 小根<br>あり |    |
| 基岩             |          |                |                   |                  |                    |        |                  |     |        |    |          |          |    |

## 幡豆統

幡豆町の山地に出現する主に10YRの色相を有する乾性褐色森林土壌である。母材は片麻岩類であり、土性は微砂質壤土あるいは砂質壤土である。ところどころに階段状耕作によるミカン園が見られ、土地開発地及び土取り場が広がりつつある。

全体としてマツくい虫被害が広がり、針広混交林と少単位の人工林からなっている。図示し得ないが、所々に適潤性土壌の出現を認めた。

### 代表断面 (地点番号 ⑫)

位 置 幡豆郡幡豆町大字大沢  
 海 抜 高 230 m 傾斜 18° 方向 S30°E  
 地 質・地 形 領家変成岩、東南へ走っている尾根筋の南向き山腹斜面の上部  
 母材・堆積様式 片麻岩、残積土  
 林 況 マツ20年生造林地で、中木にヒサカキが多くみられる。  
 断 面 状 態 L: 2 cm マツ、ヒサカキ等の落葉が粗に堆積  
 F: 2 cm 細根多い  
 H: 1 cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界       | 土性    | 礫    | 土色                  | 腐植 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |           | 備考 |
|----|----------|----------|-------|------|---------------------|----|----|-----|----|----|----|-----------|----|
|    |          |          |       |      |                     |    |    |     |    |    | 草木 | 木本        |    |
| A  | 4        | 明瞭<br>渐变 | 微砂質壤土 | -    | 黒 褐<br>(10YR 3/2)   | 富む | 細粒 | 粗   | 零  | 半乾 | なし | 小根<br>富   |    |
| B  | 31-      |          | 微砂質壤土 | 小礫あり | にぶい黄褐<br>(10YR 4/3) | 含む | -  | 中   | 零  | 〃  | なし | 小中<br>根あり |    |
| C  | 65+      |          | 〃     | 〃    | 黄 褐<br>(10YR 5/6)   | なし | -  | 密   | 中  | 〃  | なし | -         |    |

## 蔵王山 1 統

蒲郡図幅の東南部に、伊良湖図幅に続いて出現する土壤で、チャートを母材とし、7.5 Y Rの色相を有する乾性褐色森林土壤である。A層の上部は乾いている。土性は、主として埴質壤土である。B層の土も乾いており、固い。

谷部にはヒノキ、スギの造林地もあるが、全般的にクロマツ人工林、天然林で生産力は低い。しかし、環境保全機能は果されている。

### 代表断面 (地点番号 ⑬)

位 置 渥美郡田原町大字仁崎字  
 海 抜 高 100 m 傾斜 25° 方向 S20°W  
 地 質・地 形 秩父古生層、チャート  
 南から北へ走る尾根の東斜面の中腹平行斜面  
 母材・堆積様式 チャート、 匍行土  
 林 況 上層：アカマツ、ヒノキ、リョウブ、コナラ、クロマツ  
 (樹高約10m)  
 中層：ヒサカキ、ヤブニッケイ  
 下層：ヒサカキ、ネズミモチ  
 断面状態 L： 3 cm マツ、ヒノキ、リョウブ、コナラ等の落葉枝  
 F： 2 cm  
 H： -

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界 | 土性   | 礫           | 土色                 | 腐植     | 構造     | 粗密度 | 粘り | 水湿     | 根      |            | 備考 |
|----|----------|----|------|-------------|--------------------|--------|--------|-----|----|--------|--------|------------|----|
|    |          |    |      |             |                    |        |        |     |    |        | 草木     | 木本         |    |
| A  | 14       | 漸変 | 壤土   | 小~細角礫<br>含む | 暗 褐<br>(7.5YR 3/4) | 含<br>む | 粒      | 中   | 弱  | 半<br>乾 | な<br>し | 中~小根<br>含む |    |
| B  | 15       |    | 埴質壤土 | 中~小角礫<br>含む | 褐<br>(7.5YR 4/6)   | 乏<br>し | 粒      | 中   | 中  | 半<br>乾 | な<br>し | 小根<br>あり   |    |
| C  | 71+      |    | 埴質壤土 | 中~小角礫<br>含む | 明 赤 褐<br>(5YR 5/8) | 乏<br>し | な<br>し | 密   | 強  | 半<br>乾 | な<br>し | な<br>し     |    |

# 衣笠山統

蒲郡図幅の東南部衣笠山周辺に出現する土壌で、石灰岩を母材とする土壌の地域に出現する褐色森林土壌である。

A 0 層はL層だけであり、A層は比較的深い、山頂部は浅い。

色相は7.5 Y Rで、土性は埴質壤土で、全土層は深い、山頂部には一部5 Y Rの色相を有するものもあり、土層は浅く、乾燥気味である。

林相は、一部ヒノキ、スギの造林地もみられるが、クロマツ、コナラ等の天然林であり、山頂部にはウバメガシの純林がみられる。

## 代表断面 (地点番号 ⑭)

位 置 渥美郡田原町大字衣笠

海 抜 高 150m 傾斜 21° 方向 N24°E

地 質 ・ 地 形 秩父古生層

南から北東に延びる尾根の西側斜面中部で平行斜面

母材・堆積様式 石灰岩、 匍行土

林 況 上層：クロマツ、コナラ(8~12m)

中層：ネズミモチ、ヤブツバキ、イボタノキ

下層：ヒサカキ、ヤブコウジ、マンリョウ、サネカズラ、キツタ、テイカカズラ

断 面 状 態 L: 6cm クロマツ、コナラ等の落葉枝

F: -

H: -

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界     | 土性   | 礫       | 土色             | 腐植 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根   |        | 備考 |
|----|----------|--------|------|---------|----------------|----|----|-----|----|----|-----|--------|----|
|    |          |        |      |         |                |    |    |     |    |    | 草木  | 木本     |    |
| A  | 28       | 判<br>漸 | 埴質壤土 | 小・細角礫含む | 極暗褐(7.5YR 2/3) | 富む | 塊状 | 粗   | 中  | 半乾 | 小あり | 小~中根富む |    |
| B  | 35       |        | 〃    | 小~大角礫富む | 褐(7.5YR 4/4)   | 含む | 〃  | 中   | 強  | 〃  | なし  | 小~中根含む |    |
| C  |          |        | 〃    | 大角礫富む   | 褐(7.5YR 4/6)   | 乏し | なし | 中   | 強  | 〃  | なし  | なし     |    |

## 古布統

師崎凶幅の南部に分布する新第3紀常滑層のうち礫・粘土等を母材とする地域に出現する土壌統で、上層はほど10 YR、下層は7.5 YRの色相を有する乾性褐色森林土壌である。A層は浅いが全土層は深い。

表層は半角礫を含む埴質壤土であるが、下層にかけて円礫を含み、埴土でカベ状を呈す。

大部分が天然生の針広混交林であり、中層木にはウバメガシがみられ、生産力は低い。

### 代表断面 (地点番号 ⑮)

位置 知多郡美浜町大字豊丘字長端  
 海拔高 70 m 傾斜 22° 方向 N68°W  
 地質・地形 常滑層、南へ走向する尾根から派生した小尾根の北西面の中腹斜面  
 母材・堆積様式 礫、粘土、 匍行土  
 林 況 上層：コナラ(樹高約8~9m、胸高直径約12cm)  
 中層：ウバメガシ(樹高約7m、胸高直径約10cm)  
 下層：ネジキ、ヒサカキ、ネズミモチ  
 地床：コシダ  
 断面状態 L: 4cm コナラ、ウバメガシ等の落葉が密に堆積  
 F: 2cm //  
 H: なし

| 層位             | 厚さcm | 層界       | 土性   | 礫      | 土色              | 腐植 | 構造   | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |          | 備考 |
|----------------|------|----------|------|--------|-----------------|----|------|-----|----|----|----|----------|----|
|                |      |          |      |        |                 |    |      |     |    |    | 草木 | 木本       |    |
| A              | 5    | 漸変<br>判然 | 埴質壤土 | 小半角礫あり | にぶい黄褐(10YR 4/3) | 含む | 粒粗   | 粗   | 極強 | 半乾 | なし | 小根<br>富む |    |
| A)-B           | 27   |          | 〃    | 〃      | 〃(10YR 5/4)     | 乏し | やゝ堅果 | 中   | 〃  | 〃  | 〃  | 小根<br>含む |    |
| B <sub>1</sub> | 48   |          | 〃    | 〃      | 明黄褐(10YR 6/6)   | 〃  | なし   | 粗   | 〃  | 〃  | 〃  | 小根<br>あり |    |
| B <sub>2</sub> | 20+  |          | 埴土   | 中円礫あり  | 明褐(7.5YR 5/6)   | 〃  | カベ   | 密   | 〃  | 〃  | 〃  | 〃        | なし |

## 南乙川統

蒲郡図幅中央部海岸地区の丘陵地に出現する土壌で、花崗岩類、斑れい岩を母材とし、主に5YRの色相を有する乾性褐色森林土壌（赤褐系）である。

A層は薄く、B層への移行は明瞭である。尾根部では、極端に乾燥する所があり、一部で2.5YRの色相をもつ土壌がみられる。

土壌の生産力は極めて低く、林業生産に不適であるが、防風・防潮効果など環境保全上では重要である。

代表断面 (地点番号 ⑩)

位置 幡豆郡幡豆町大字小浜

海拔高 30m 傾斜 15° 方向 S60°E

地質・地形 中生代、領家花崗岩類

北西から南東に走る台地状尾根の南東緩斜面中部

母材・堆積様式 斑れい岩、 匍行土

林況 上層：クロマツ（10齡級 樹高約14m）

中層：ヤマモモ、ヒサカキ、トベラ

下層：ヤブニッケイ、タブノキ、ネズミモチ、カクレミノ

断面状態 L: 2.0cm クロマツ、ヤマモモ、モチ、ヒサカキ等の落葉枝

F: 0.5cm //

H: 0.5cm //

| 層位 | 厚さ<br>cm | 層界       | 土性   | 礫  | 土色                             | 腐植 | 構造    | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |          | 備考 |
|----|----------|----------|------|----|--------------------------------|----|-------|-----|----|----|----|----------|----|
|    |          |          |      |    |                                |    |       |     |    |    | 草本 | 木本       |    |
| A  | 6        | 明瞭<br>漸変 | 壤土   | なし | 暗赤褐<br>(5YR 3/2)               | 富む | 細粒・粒  | 粗   | 零  | 乾  | なし | 細根<br>富む |    |
| B  | 34       |          | 埴土   | 〃  | 赤褐<br>(5YR 4/6)                | 乏し | 上部堅果状 | 中   | 強  | 半乾 | 〃  | 中根<br>あり |    |
| C  | 60+      |          | 埴質壤土 | 〃  | 明赤褐<br>(5YR <sup>5</sup> /6-8) | 乏し | なし    | 中   | 強  | 〃  | 〃  | 〃        |    |

## 篠島統

この土壌統は蒲郡図幅南西部の三河湾に浮く篠島に出現する5 Y Rの色相を有する乾性褐色森林土壌である。

一般的に、A<sub>0</sub>層は一般的に厚く、A層は浅い。B層への推移は判然としている。

治山事業等によるクロマツ人工林が多く、環境保全上重要な役割りを果している。

代表断面 (地点番号 ⑰)

位 置 知多郡南知多町篠島

海 抜 高 30 m 傾斜 10° 方向 S30°E

地質・地形 領家花崗岩類

北から南へ走る尾根から南々西にやや下った中腹部緩斜面

母材・堆積様式 花崗岩類、 匍行土

林 況 上層 : クロマツ (5 齡級 樹高約 7 m)

中層 : トベラ、カクレミノ、ヒサカキ

下層 : ウラジロ、カクレミノ

断面状態 L : 2.0 cm クロマツ等の落葉枝

F : 2.0 cm //

H : 0.2 cm //

| 層位             | 厚さ<br>cm | 層界             | 土性 | 礫  | 土色               | 腐植 | 構造   | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |          | 備考 |
|----------------|----------|----------------|----|----|------------------|----|------|-----|----|----|----|----------|----|
|                |          |                |    |    |                  |    |      |     |    |    | 草木 | 木本       |    |
| A              | 3        | 判然<br>渐变<br>渐变 | 壤土 | なし | 暗赤褐<br>(5YR 3/3) | 富む | 粒・堅果 | 中   | 中  | 半乾 | なし | 小根<br>含む |    |
| B <sub>1</sub> | 20       |                | "  | "  | "<br>(5YR 3/4)   | 含む | "    | "   | 強  | "  | "  | 小根<br>あり |    |
| B <sub>2</sub> | 35       |                | "  | "  | 赤褐<br>(5YR 4/6)  | 乏し | なし   | "   | "  | "  | "  | 中根<br>あり |    |
| C              | 42+      |                | "  | "  | "<br>(5YR 4/6)   | "  | なし   | "   | "  | "  | "  | "        | "  |

## 知多 2 統

師崎図幅の北西に位置し、半田図幅からつづく土壌統で、新第 3 紀常滑層の粘土を母材とする地域の下腹、下降斜面に分布する褐色森林土壌（黄褐色系）である。A 層は浅いが、全土層は深く 10 YR の色相を有し、礫を含まない埴質壤土である。大部分が天然性の針広混交林である。

代表断面 (地点番号 ⑬)

位置 常滑市大谷字江ノ田  
 海拔高 30 m 傾斜 22° 方向 N54°W  
 地質・地形 常滑層、ほぼ北に向う小尾根の北西凹斜面の下腹  
 母材・堆積様式 粘土、崩積土  
 林況 上層：ヤマモモ（樹高 6 m、胸高直径 10 cm）、ヒサカキ  
 （樹高 5～6 m、胸高直径 6 cm）  
 下層：ネズミモチ、カクレミノ等（樹高 0.5～0.6 m）  
 地床：ササ

断面状態 L: 2 cm ヤマモモ、ヒサカキ、ネズミモチ、カクレミノ等の落葉落枝  
 F: 0～0.5 cm  
 H: なし

| 層位             | 厚さ cm | 層界       | 土性   | 礫  | 土色                  | 腐植 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根    |              | 備考   |
|----------------|-------|----------|------|----|---------------------|----|----|-----|----|----|------|--------------|------|
|                |       |          |      |    |                     |    |    |     |    |    | 草木   | 木本           |      |
| A              | 5     | 判然<br>漸変 | 埴質壤土 | なし | にぶい黄褐<br>(10YR 4/3) | 含む | 団粒 | 頗る粗 | 強  | 半乾 | 小根あり | 小根含む         |      |
| B <sub>1</sub> | 5     |          | 〃    | 〃  | 〃<br>(10YR 5/4)     | 乏し | 塊  | 粗   | 〃  | 〃  | なし   | 中根含む         |      |
| B <sub>2</sub> | 30    |          | 〃    | 〃  | にぶい黄褐<br>(10YR 6/3) | 〃  | なし | 〃   | 極強 | 〃  | 〃    | 中根あり<br>小根あり |      |
| B <sub>3</sub> | 60+   |          | 〃    | 〃  | 〃<br>(10YR 7/3)     | 〃  | 〃  | 中   | 〃  | 〃  | 〃    | 〃            | 中根あり |

## 内海 2 統 ( その 1 )

本図幅南部の新第 3 紀師崎層のうち泥岩を主とする地域に出現し、10YR の色相を有する褐色森林土壌 ( 黄褐系 ) である。土性は微砂質壤土であるが、角礫が多く含まれており、全土層は約 50 cm 程度で浅く、やゝ乾き易い。

### 代表断面 ( 地点番号 ⑩ )

位 置 知多郡美浜町大字野間字長端  
 海 抜 高 70 m 傾 斜 33° 方 向 N30°W  
 地 質 ・ 地 形 師崎層、北西に派生した小尾根の北西中腹斜面  
 母材・堆積様式 泥岩、 匍行土  
 林 況 上層：カラスザンショウ ( 樹高約 8.5 m )  
 中層：エノキ ( 樹高約 6 m )  
 下層：シロダモ、ヤブニッケイ、ヒサカキ、ネズミモチ  
 地床：イノデ、オクマワラビ、デイカカズラ、ベニシダ、  
 ジャノヒゲ、リョウメンシダ、キズタ等  
 断 面 状 態 L : 2 cm 広葉樹の落葉等が粗に堆積  
 F : な し  
 H : な し

| 層位             | 厚さ cm     | 層界             | 土性    | 礫                         | 土色                  | 腐植   | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |                | 備考 |
|----------------|-----------|----------------|-------|---------------------------|---------------------|------|----|-----|----|----|----|----------------|----|
|                |           |                |       |                           |                     |      |    |     |    |    | 草木 | 木本             |    |
| A              | 10<br>~12 | 明瞭<br>漸変<br>明瞭 | 微砂質壤土 | 小角礫含む                     | 黒褐<br>(10YR 2/2)    | 頗る富む | 塊中 | 中   | 強  | 半乾 | -  | 大・小根含む<br>中根あり |    |
| A <sub>1</sub> | 10<br>~13 |                | 〃     | 小角礫富む<br>中角礫含む<br>大角礫頗る富む | 暗褐<br>(10YR 3/3)    | 富む   | 堅果 | 〃   | 〃  | 〃  | -  | 小根あり           |    |
| A <sub>2</sub> | 12<br>~15 |                | 〃     | 大角礫富む<br>中角礫頗る富む          | にぶい黄褐<br>(10YR 4/3) | 含む   | なし | 〃   | 〃  | 〃  | -  | 小・大根あり         |    |
| 基岩             |           |                |       |                           |                     |      |    |     |    |    |    |                |    |

## 内海 2 統 ( その 2 )

師崎幅の南部にある新第 3 紀師崎層のうち砂岩を主とする地域に出現し、10YRの色相を有する褐色森林土壌(黄褐色系)である。A~AB層にかけて、団粒や塊状構造が発達し表層土壌が厚く小角礫が含まれている。表層は砂壤土で、下層になるにつれて壤土化し、林木の成育に適している。

### 代表断面 ( 地点番号 ㊸ )

位 置 知多郡南知多町大字山海字北山  
 海 抜 高 65m 傾斜 25° 方向 N90°E  
 地 質 ・ 地 形 師崎層、南にのびる小尾根の左側東面斜面  
 母材・堆積様式 砂岩、 匍行土  
 林 況 上層：ヤマザクラ、マダケ、アカマツ(枯)  
 中層：ヒサカキ、ヤマモモ、コナラ、ウバメガシ  
 下層：ヒサカキ、ネズミモチ、カクレミノ、コ克蘭、ジャノヒゲ  
 断 面 状 態 L: 2cm 広葉樹の落葉堆積  
 F: 少々  
 H: なし

| 層位             | 厚さ cm     | 層界             | 土性  | 礫     | 土色                   | 腐植 | 構造 | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |                     | 備考 |
|----------------|-----------|----------------|-----|-------|----------------------|----|----|-----|----|----|----|---------------------|----|
|                |           |                |     |       |                      |    |    |     |    |    | 草木 | 木本                  |    |
| A <sub>1</sub> | 6~7       | 明瞭<br>漸変<br>明瞭 | 砂壤土 | 小角礫あり | 暗 褐<br>(10YR 3/3)    | 富む | 団粒 | 粗   | 中  | 半乾 | -  | 大根含む<br>小根〃<br>中根あり |    |
| A <sub>2</sub> | 13<br>~14 |                | 〃   | 〃     | 暗褐~褐<br>(10YR 3.4/4) | 含む | 塊  | 中   | 〃  | 〃  | -  | 小根含む                |    |
| AB             | 15        |                | 壤土  | 〃     | 黄 褐<br>(10YR 5/6)    | 乏し | 〃  | 密   | 〃  | 〃  | -  | 中根含む<br>小根あり        |    |
| B              | 25        |                | 〃   | 〃     | 〃<br>(10YR 5/8)      | 〃  | -  | 〃   | 〃  | 〃  | -  | 小根あり                |    |
| CR             | 40+       |                |     |       |                      |    |    |     |    |    |    |                     |    |

# 豊浜1統

師崎図幅の南部に分布する新第3紀師崎層のうち頁岩質の凝灰岩を母材とする地域に出現し、2.5Yの色相を有する乾性黄色土壌である。A層は浅く、全土層も40~50cmで基岩に達する。主として知多半島南海岸尖端部から山海にかけて潮風を受け易い斜面に出現する。大部分がウバメガシを主とする林相で生産力は低く表層が崩れ易いので森林の取り扱いに注意する必要がある。

## 代表断面 (地点番号 ②)

位 置 知多郡雨知多町大字山海字押水  
 海 抜 高 85m 傾斜 14° 方向 N62°W  
 地質・地形 師崎層、南東に走行する尾根の頂部緩斜面  
 母材・堆積様式 凝灰岩(頁岩質)、 残積土  
 林 況 上層: 樹高5~6mのウバメガシにコナラを混交  
 中・下層: なし  
 地床: シュンラン、スズカカンアオイ、ジャノヒデ  
 断面状態 L: 2cm ウバメガシの落葉・枝が密に堆積  
 F: 少々  
 H: なし

| 層位       | 厚さ<br>cm | 層界             | 土性        | 礫   | 土色                                 | 腐植       | 構造               | 粗密度 | 粘り | 水湿     | 根            |             | 備考       |
|----------|----------|----------------|-----------|---|------------------------------------|----------|------------------|-----|----|--------|--------------|-------------|----------|
|          |          |                |           |   |                                    |          |                  |     |    |        | 草木           | 木本          |          |
| HA       | 2        | 明瞭<br>判然<br>明瞭 | 微砂質壤土     | なし  | 黒 褐<br>(2.5Y 3/1)                  | 頗る<br>富む | 細<br>粒           | 粗   | 強  | 半<br>乾 | -            | 中<br>あ<br>り | 菌根<br>富む |
| A        | 6~7      |                | 小角礫<br>富む | 黄灰~暗灰黄<br>~黒褐<br>(2.5Y 3-4 <sub>1-2</sub> ) | 富<br>む                             | 堅<br>果   | 中                | 〃   | 乾  | -      | 小根富む<br>中根含む | 〃           |          |
| AB       | 13       |                | 〃         | 〃   | 暗 灰 黄<br>(2.5Y 4/2)                | 乏<br>し   | 〃                | 〃   | 〃  | 〃      | -            | 小 根<br>含 む  | 〃        |
| B~<br>基岩 | 30       |                | 〃         | 小・中角礫<br>富む                                 | 黄灰~暗灰黄<br>(2.5Y 4 <sub>1-2</sub> ) | 〃        | 一<br>部<br>細<br>粒 | -   | 〃  | 〃      | -            | 小 根<br>含 む  | 〃        |
| 基岩       | 50+      |                | 〃         |   |                                    |          |                  |     |    |        |              |             |          |

## 豊浜 2 統

師崎図幅南部に分布する新第 3 紀師崎層のうち凝灰岩を母材とする地域に出現し、2.5 Y 色相を有する黄色土壌である。A 層は比較的深く、また全土層も 70 cm に達し、生産力も高くなり、スギ、ヒノキの人工林がみられる。

### 代表断面 (地点番号 ㊸)

位 置 知多郡南知多町大字片名字親地  
 海 抜 高 35 m 傾斜 35° 方向 N18°E  
 地 質 ・ 地 形 師崎層、北東にのびる尾根の中腹平行急斜面  
 母材・堆積様式 凝灰岩、 圃行土  
 林 況 上層：ヒノキ 10 令級 (樹高約 15 m)、クロマツ、スギ  
 下層：シロダモ、イヌビワ、カクレミノ、ネズミモチ、ヤブツバキ  
 地床：ベニツダ、オオカナワラビ、アラカシ、ミゾツダ、ジャノヒゲ他  
 断 面 状 態 L： 1 cm ヒノキ、スギ等の落葉・枝疎に堆積  
 F： なし  
 H： なし

| 層位             | 厚さ cm | 層界                   | 土性    | 礫                      | 土色                    | 腐植 | 構造    | 粗密度 | 粘り | 水湿 | 根  |      | 備考   |  |
|----------------|-------|----------------------|-------|------------------------|-----------------------|----|-------|-----|----|----|----|------|------|--|
|                |       |                      |       |                        |                       |    |       |     |    |    | 草木 | 木本   |      |  |
| A <sub>1</sub> | 5~6   | 明瞭<br>漸変<br>判然<br>明瞭 | 微砂質壤土 | 小角礫含む<br>中角礫含む<br>細角礫有 | 暗オリーブ褐<br>(2.5Y 3/3)  | 富む | 団粒    | 粗   | 強  | 半乾 | なし | 小根含む |      |  |
| A <sub>2</sub> | 10~11 |                      | 〃     | 中角礫含む<br>小角礫富む         | オリーブ褐<br>(2.5Y 4/4-6) | 乏し | 堅果一部塊 | 中   | 中  | 〃  | 〃  | 〃    |      |  |
| B <sub>1</sub> | 14    |                      | 〃     | 小・中角礫<br>富む            | 〃<br>(2.5Y 4/6)       | 〃  | -     | 〃   | 〃  | 〃  | 〃  | 〃    | 小根あり |  |
| B <sub>2</sub> | 35+   |                      | 〃     | 大角礫含む<br>小・中角礫<br>頗る富む | 〃<br>(2.5Y 4/4)       | 〃  | -     | 〃   | 〃  | 〃  | 〃  | 〃    | 〃    |  |
| 基岩             |       |                      |       |                        |                       |    |       |     |    |    |    |      |      |  |

## 2.2 台地及び低地域の土壌（農地土壌）

図幅内に分布する土壌統の種類とその断面形態の特徴、分布状況を述べれば次のとおりである。なお、土壌統一覧を表1に示した。

### 2.2.1 厚層黒ボク土壌

#### 1) 野田統

本図幅では田原町の洪積台地上に分布する。

腐植含量は5～10%で黒ボク層の厚さが1m以上ある。表層より強粘質で礫は一般に少ない。斑紋も認められない。りん酸吸収係数は1500程度と高く、保肥力も15～20meと本県土壌としては高い。畑、樹園地として利用されている。

### 2.2.2 黒ボク土壌

#### 1) 豊岡統

幡豆町鳥羽川上流の花崗岩地帯の丘陵緩斜面に分布し、主にみかん園として利用されている。周辺に母材を同じくして腐植層を有しない土壌統として裏谷統が分布する。黒ボク層の厚さは浅く、下層は灰褐色を呈する粘質土壌である。保肥力は11.3meと黒ボク土としては少さい。りん酸吸収係数は1600内外で高い。

### 2.2.3 多湿黒ボク土壌

#### 1) 平田統

蒲郡市全域の洪積平坦部に広く分布する。

水田として利用されているため土壌断面に鉄の酸化沈積物による斑紋が認められる。

黒ボク層は厚く土性はおおむね粘質である。

りん酸吸収係数は1400内外と高く、また、保肥力も16.3meと概して高いが水稻の生産力は高くない。70cm内外に湧水面が認められる。

## 2.2.4 褐色森林土壌

### 1) 幡豆、柏原統

幡豆統は花崗岩類を母材とする崩積土壌で表層が灰褐色、心土は黄褐色を呈する。土性はおおむね粘質で下層は礫に富むものが多い。

岩盤、礫層などにより有効土層が浅いので心土破碎、深耕、除礫、客土などにより根圏域の拡大を図る必要がある。保肥力は35.4 me と高く、りん酸吸収係数も1200 程度と高い。

蒲郡市、幡豆町の山地斜面に分布し、みかん園が多い。

柏原統は幡豆統に類似するが堆積様式が残積である。吉良町北部の山地斜面に分布する。

### 2) 内海統

泥岩、砂岩、礫岩等を母材とする残積の土壌で、ほぼ全層が黄褐色ないし黄色を呈する。

土性は表層が粘質で下層は一般に強粘質のものが多い。保肥力は中程度であるが、佐久島に分布するものは頁岩を母材としているため保肥力が大きい。南知多町北部の第三紀鮮新統の丘陵地に分布し、みかん園が多い。佐久島では野菜畑、かんきつ類等の樹園地として利用されている。

### 3) 久米統

常滑市南部の洪積波状台地上に分布する。

土性は砂質で養分が流亡しやすい。野菜畑、樹園となっている。

### 4) 豊丘、師崎統

豊丘統は美浜町南部の丘陵斜面に分布する残積土壌である。

師崎統は知多半島南部地域に広く分布する頁岩を母材とする残積土壌で保肥力が大きい。

両土壌ともほぼ全層が黄褐色を呈する。表層の礫含量も多く、30 cm内外の深さから礫層が出現する。土性は豊丘統は壤質から粘質であるが師崎統は表層から強粘質なものが多い。

みかん、梅等の樹園地や野菜畑となっている。

## 5) 幸田、蒲郡統

幸田統は幸田町の変成岩地帯の山ろく緩斜面に小面積分布する。表層より礫含量に富み50 cm以下は礫層となるものが多い。周辺には粗粒黄色土である宮迫統が分布する。傾斜地で礫が多いので野菜にはやや不適なため主にみかん園となっている。

蒲郡統は蒲郡市後背の緩斜面に一部分布する。礫に富み30～60 cm以下は礫層となっている。保肥力は小～中程度で肥料の流亡や濃度障害がおきやすい。主にみかん園として利用されている。

## 2.2.5 細粒灰色台地土壌

### 1) 戸ヶ崎統

主として洪積台地の凹地に分布する。排水は比較的良好で全層がほぼ灰褐色を呈する強粘質土壌である。水田として利用されており下層に斑鉄が認められる。田原町衣笠山の山ろくに小面積分布する。

### 2) 神戸統

丘陵間の残積地や丘陵性台地で排水のやや不良の地形のところに分布する。全層が灰色を呈し粘質な土壌である。保肥力は37.5 me と大きい、下層に礫が多いため有効土層は浅い。知多半島南部に分布し水田として利用されている。

## 2.2.6 粗粒灰色台地土壌

### 1) 大塚統

主として丘陵や山ろくの斜面に分布する砂壤質の土壌である。全層はほぼ灰色を呈し、表層から斑紋が認められる。保肥力は中程度であるが減水深が大きい、ため肥料の溶脱が大きい。武豊町と蒲郡市の水田地帯に局部的に分布する。

### 2) 小鈴谷統

常滑市小鈴谷及び美浜町古布の丘陵緩斜面に局所的に分布し、野菜畑とし

て利用されている。土性は表層は砂壤質であるが50 cm以下に強粘質土壤が出現するところもある。

## 2.2.7 黄色土壤

### 1) 宮迫統

吉良町の変成岩地帯に分布し、堆積様式は残積である。土壤が粘質で腐植に乏しく、耕起も困難である。表層から礫が出現する。みかん園、畑として利用されている。

### 2) 西尾統

宮迫統に類似するが堆積様式が洪積である。表層は灰褐色、心土は黄褐色を呈する。土性は表層が壤質～粘質、下層が粘質～強粘質であり、特に下層はち密で理化学性は不良である。作土の腐植含量も全般に少ないため耕起碎土がやや困難である。本図幅では武豊町の一部と蒲都市の後背傾斜面及び田原町に分布する代表的畑土壤である。

### 3) 武豊統

おおむね全層が灰褐ないし黄褐色を呈する。

土性は表層が壤質～粘質、下層は粘質～強粘質である。腐植含量も少ない。武豊町一帯の洪積台地上に分布し、みかん、ぶどう等の樹園地及び野菜畑として利用されている。

### 4) 津平統

三河山地中央部の変成岩地帯に広く分布する。壤質で保肥力はやや小さく腐植含量も少ない。70 cm内外から礫層が出現する。山間部における残積の主要土壤である。

### 5) 古屋、東大高、美浜統

洪積台地、第三紀丘陵地など平坦な台地、緩斜面に分布し、灰～黄褐色を呈する粘質な土壤である。古屋統は水田として利用され知多半島南部の知多湾沿いに分布する。東大高、美浜統は中央部に分布し、代表的なみかん園地帯となっている。保肥力は小～中程度で下層土の理化学性は概して悪い。

東大高統は50 cm以下に酸化沈積物の斑紋がみられ、美浜統は表層から礫を含む。

#### 6) 伊藤、中畑統

伊藤統は表層が灰色、下層が黄褐色を呈し、酸化沈積物の斑紋を有する土壌である。断面形態は古屋統に類似するが粘土含量がやや少ない点で異なる。蒲郡市に小面積分布するにすぎない。水田として利用されている。

中畑統は西尾統に類似するが下層に酸化沈積物の斑紋が認められる点で異なる。また、下層に礫含量の多いものがある。蒲郡市の洪積台地の比較的平坦な低台地に分布し、やや排水不良の畑が多い。みかん園としても利用されている。

#### 7) 河和統

表層は灰色を呈し砂質土壌であるため保肥力は6.6 me と小さい。知多半島南部河和一帯の第三紀丘陵緩斜面に分布し、みかん園が多い。

### 2.2.8 赤色土壌

#### 1) 柏原 R、西尾 R 統

柏原統及び西尾統に類似するが下層が赤色を呈する点が異なる。表層は壤質～粘質、下層は強粘質で密なため土壌の物理性は不良である。柏原 R 統は西三河の丘陵地域に広く分布し、野菜畑、みかん園として利用されている。

西尾 R 統は本図幅では田原町のみ分布する。

#### 2) 美浜 R 統

美浜統に類似するが心土の色が赤色を呈する点が異なる。表層は灰褐～黄褐を呈するものが多い。知多半島中央部の丘陵に広く分布し代表的なみかん園地帯を形成している。

### 2.2.9 粗粒褐色低地土壌

#### 1) 野間統

粘土含量5%以下の砂質土壌で保肥力、緩衝能とも小さい。沖積土壌とし

ては排水も良好で地下水位の低い酸化型土壌である。美浜町の伊勢湾沿いに分布し、主に根菜類の畑として利用されている。

## 2.2.10 細粒灰色低地土壌

### 1) 東浅井統

沖積平坦部の地下水位の低いところに分布する。保肥力は1 0.8 me で県内土壌としては中程度。全層にわたって灰色を呈する壤質～粘質土壌でマンガンの結核が出現する。本図幅では美浜町に小面積分布するにすぎない。

## 2.2.11 灰色低地土壌

### 1) 針曽根統

大小河川の流域で平坦部に分布する壤質土壌である。一般に作土、すき床に酸化沈積物の斑紋が認められるが下層には少ない。全層にわたって灰色を呈する。80cm内外の深さに湧水面があるがグライ化は進んでいない。保肥力、緩衝力ともやや小さい。美浜町の沖積平地及び矢作川沖積地に広く分布する。

### 2) 三和統

針曽根統に類似するが下層にマンガン結核が認められる点が異なる。沿海部及び河川沿いの沖積平坦地に分布する。

### 3) 深津、高落統

深津統は針曽根統に類似するが土色の点で区別される。針曽根統より地下水位が低く排水のよい立地条件に分布する。表層は灰色、下層は灰褐色を呈する壤質～粘質土壌で保肥力は小さい。美浜町及び幸田町拾石川沿いの沖積平坦地に分布する。

高落統は深津統に類似するが、マンガン結核を有する点で異なる。深津統に隣接して分布する。

### 4) 福地統

地下水位の低い沖積平坦地に分布する代表的な土壌統である。本図幅では矢作川流域に分布する。表層が灰色、下層はおおむね黄褐色を呈するものが多

い。土性は壤質で水の影響が少ないため酸化沈積物の斑紋は認められない。畑として利用されている。

### 2.2.12 粗粒灰色低地土壌

#### 1) 上細池、奥田統

上細池統はおおむね全層が砂質であるが、作土層のみ壤質のものもみられる。矢作古川沿いに小面積分布する。

奥田統は一色町、碧南市の新旧干拓地に島畑として散在する。排水は比較的良好である。

砂質土壌であるため両土壌とも保肥力、緩衝能とも小さい。

#### 2) 鵜多須統

矢作川河口から衣浦湾沿いの干拓地に分布し、平坦で標高が低い。粘土含量5%以下の砂質土壌で有機物は少なく保肥力も小さい。

ニンジン、タマネギ畑として利用されている。

### 2.2.13 細粒グライ土壌

#### 1) 米津統

全層又は作土直下からグライ層が出現する粘質な土壌である。湧水面も40cm内外と高い。保肥力は10.5me、乾土効果は9.3mgとやや高い水田土壌である。洪積、第三紀丘陵地などに囲まれた沖積低湿地帯に広く分布する。

#### 2) 荻谷、常滑統

荻谷統は米津統に類似するが湧水面が40～80cmとやや低く、30cm以下にも斑紋が認められる点で異なる。南知多町内海の沖積平坦部及び丘陵地谷間に分布する。

常滑統は武豊町の水田地帯及び常滑市南部の米津統に隣接して分布する土壌で地下水位がやや低いため下層にも斑紋が認められる。

#### 3) 志籠谷統

西尾市の矢作古川沿いに小面積分布する。土性は壤質～粘質で40～60

cm以下はグライ層となっている。

#### 2.2.14 グライ土壌

##### 1) 寺津統

沖積低湿地に分布する代表的な水田土壌である。作土を除く全層が青灰色を呈するグライ層になっており、60 cm内外の深さからしばしば砂層が出現する。湧水面は40 cm内外と高く湿田となっている。保肥力は中程度である。

##### 2) 開正統

中粗粒の代表的土壌統である。本図幅での分布面積も一番大きく、矢作川流域水田土壌の主要な位置を占める。表層は灰色を呈し、30～60 cm以下はグライ層となっている。保肥力は8.1 me で肥効の持続性がやや劣る。50 cm内外の深さから砂層が出現するものも多い。

#### 2.2.15 粗粒グライ土壌

##### 1) 西小塚統

粘土5%以下の砂質土壌で沖積低地に分布する砂質の代表的土壌である。全層又は作土直下からグライ層で湧水面も20～50 cmと高い。保肥力は4.8 me と小さく乾土効果も小さい。

##### 2) 一色統

全層にわたって砂質で保肥力が小さく、流亡、濃度障害などがおきやすい。また、低地で地下水位が高いため過湿になりやすい土壌である。大部分が矢作川沖積地の三河湾沿いの干拓地に分布し、葉菜類、根菜類の畑として利用されている。

##### 3) 平坂統

西小塚統よりややグライ度が低く50 cm内外よりグライ層が出現する。武豊町の沿海部に分布するが面積は少ない。

## 2.2.16 黒泥土壌

### 1) 菱池 統

上層50 cm以内に深さ20 cm以上の黒泥層が存在する土壌であり、下層にはしばしば泥炭層又はグライ層がある。主要母材は植物遺体で堆積様式は集積に属する。低湿地に分布するが泥炭土に比較して地下水位は低く排水は多少良好である。そのため植物組織は肉眼で認められない程度に分解が進んでいる。土性はおおむね粘質で腐植及び窒素含量が高い。容積重の小さい軽しような土壌である。吉良町矢作川中流域の低湿地に部分的に分布する。いずれも水田として利用されている。

表1 土 壤 統 一 覧 表

| 土壌群   | 土壌統群     | 土壌統   | 土 色   | 腐植層   | 礫層  | 土 性   |       | グラ<br>イ層 | 堆積<br>様式 | 母 材    | 地 目 | 備 考         |
|-------|----------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|----------|----------|--------|-----|-------------|
|       |          |       |       |       |     | 表 層   | 次 層   |          |          |        |     |             |
| 黒ボク土  | 厚層黒ボク土壌  | 野 田   | 黒     | 全層腐植層 | なし  | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | なし       | 洪積       | 非固結水成岩 | 畑   |             |
|       | 黒ボク土壌    | 豊 岡   | 黒～灰褐  | 表層腐植層 | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 崩積       | 固結火成岩  | 〃   |             |
|       | 多湿黒ボク土壌  | 平 田   | 灰～黒   | 全層腐植層 | 〃   | 壤～粘質  | 壤～粘質  | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 水田  | 斑鉄あり        |
| 褐色森林土 | 褐色森林土壌   | 幡 豆   | 灰褐～黄褐 | なし    | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 崩積       | 固結水成岩  | 畑   |             |
|       |          | 柏 原   | 黄 褐   | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 残積       | 〃      | 〃   |             |
|       |          | 内 海   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 〃        | 〃      | 〃   |             |
|       |          | 久 米   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 砂～壤質  | 砂～粘質  | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 〃   |             |
|       |          | 豊 丘   | 黄褐色   | 〃     | あり  | 壤 質   | 粘 質   | 〃        | 残積       | 半固結水成岩 | 〃   | 30～60cm以下礫層 |
|       |          | 師 崎   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 粘～強粘質 | 粘～強粘質 | 〃        | 〃        | 固結水成岩  | 〃   | 〃           |
|       |          | 幸 田   | 灰 褐   | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 〃        | 変成岩    | 〃   | マンガン結核あり    |
|       |          | 瀧 部   | 灰褐～黄褐 | 〃     | なし  | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 〃   | 斑鉄あり        |
| 灰色台地土 | 細粒灰色台地土壌 | 戸ヶ崎   | 灰褐色   | 〃     | 〃   | 強粘質   | 強粘質   | 〃        | 〃        | 〃      | 水田  | 〃           |
|       |          | 神 戸   | 灰     | 〃     | 〃   | 粘～強粘質 | 粘～強粘質 | 〃        | 残積       | 固結水成岩  | 〃   | 斑鉄・マンガン結核あり |
|       | 粗粒灰色台地土壌 | 大 塚   | 灰～灰褐  | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～粘質  | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 〃   | 斑鉄あり        |
|       | 小鈴谷      | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃     | 壤 質 | 壤 質   | 〃     | 残積       | 半固結水成岩   | 畑      |     |             |
| 赤黄色土  | 黄色土壌     | 宮 迫   | 黄 褐   | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 〃        | 変成岩    | 〃   |             |
|       |          | 西 尾   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 〃   |             |
|       |          | 武 豊   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 粘～強粘質 | 〃        | 〃        | 〃      | 〃   |             |
|       |          | 津 平   | 灰褐～黄褐 | 〃     | あり  | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 残積       | 変成岩    | 〃   | 30～60cm以下礫層 |
|       |          | 古 屋   | 黄 褐   | 〃     | なし  | 壤～粘質  | 壤～粘質  | 〃        | 洪積       | 非固結水成岩 | 水田  | 斑鉄あり        |
|       |          | 東大高   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 粘～強粘質 | 〃        | 〃        | 〃      | 畑   | 斑鉄・マンガン結核あり |
|       |          | 美 浜   | 褐～黄褐  | 〃     | 〃   | 壤 質   | 粘 質   | 〃        | 〃        | 〃      | 〃   | 〃           |
|       |          | 伊 藤   | 灰～黄褐  | 〃     | 〃   | 壤 質   | 粘 質   | 〃        | 〃        | 〃      | 水田  | 〃           |
|       |          | 中 畑   | 灰褐～黄褐 | 〃     | 〃   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 〃        | 〃      | 畑   | 〃           |
| 河 和   | 灰褐～黄褐    | 〃     | 〃     | 砂 質   | 砂 質 | 〃     | 残積    | 半固結水成岩   | 〃        | 斑鉄あり   |     |             |

| 土壌群      | 土壌統群     | 土壌統  | 土色        | 腐植層  | 礫層   | 土性    |       | グラ<br>イ層 | 堆積<br>様式 | 母材         | 地目                      | 備考                  |                         |
|----------|----------|------|-----------|------|------|-------|-------|----------|----------|------------|-------------------------|---------------------|-------------------------|
|          |          |      |           |      |      | 表層    | 次層    |          |          |            |                         |                     |                         |
| 赤黄色土     | 赤色土壌     | 柏原Ⅱ  | 赤         | なし   | なし   | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | なし       | 残積       | 固結<br>火成岩  | 畑                       |                     |                         |
|          |          | 西尾Ⅱ  | 赤         | 〃    | 〃    | 壤～粘質  | 壤～強粘質 | 〃        | 洪積       | 非固結<br>水成岩 | 〃                       |                     |                         |
|          |          | 美浜Ⅱ  | 赤         | 〃    | 〃    | 壤質    | 粘質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   |                         |
| 褐色低地土    | 粗粒褐色低地土壌 | 野間   | 灰褐<br>～黄褐 | 〃    | 〃    | 砂質    | 砂質    | 〃        | 水積       | 〃          | 水田                      |                     |                         |
| 灰色低地土    | 細粒灰色低地土壌 | 東浅井  | 灰褐        | 〃    | 〃    | 粘質    | 粘質    | 〃        | 水積       | 非固結<br>水成岩 | 水田                      | 斑鉄・マンガン結<br>核あり     |                         |
|          |          | 針曾根  | 灰         | 〃    | 〃    | 壤～粘質  | 壤～粘質  | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 斑鉄あり                |                         |
|          | 三和       | 灰    | 〃         | 〃    | 壤～粘質 | 壤～強粘質 | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 斑鉄・マンガン結<br>核あり         |                     |                         |
|          | 灰色低地土壌   | 深津   | 灰～灰褐      | 〃    | 〃    | 壤質    | 壤質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 水田                  | 斑鉄あり                    |
|          |          | 高落   | 灰～灰褐      | 〃    | 〃    | 壤質    | 壤質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 斑鉄・マンガン結<br>核あり         |
|          | 福地       | 灰    | 〃         | 〃    | 壤～粘質 | 壤～強粘質 | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 畑                   |                         |
| 粗粒灰色低地土壌 | 上細池      | 灰    | 〃         | 〃    | 壤質   | 砂質    | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 水田                      | 斑鉄あり                |                         |
|          | 奥田       | 灰    | 〃         | 〃    | 砂質   | 砂質    | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 畑                       | 〃                   |                         |
|          | 鵜多須      | 灰～灰褐 | 〃         | 〃    | 砂質   | 砂質    | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   |                         |
| グライ土     | 細粒グライ土壌  | 米津   | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 壤～強粘質 | 壤～強粘質 | あり       | 〃        | 〃          | 水田                      | 作土直下からグライ<br>層 斑鉄あり |                         |
|          |          | 刈谷   | 青灰        | 〃    | 〃    | 粘質    | 粘質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 〃                       |
|          |          | 常滑   | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 壤～粘質  | 壤～粘質  | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 50 cm以下グライ<br>層 斑鉄あり    |
|          |          | 志籠谷  | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 粘質    | 粘質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 80 cm以上のし土<br>からグライ層    |
|          | グライ土壌    | 寺津   | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 壤質    | 壤質    | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 作土直下からグライ<br>層 斑鉄あり     |
|          |          | 閉正   | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 壤質    | 壤～粘質  | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 50～30 cm以内グ<br>ライ層 斑鉄あり |
|          | 粗粒グライ土壌  | 西小郎  | 灰～青灰      | 〃    | 〃    | 砂～壤質  | 砂～壤質  | 〃        | 〃        | 〃          | 〃                       | 〃                   | 作土直下からグライ<br>層 斑鉄あり     |
| 一色       |          | 灰～青灰 | 〃         | 〃    | 砂質   | 砂質    | 〃     | 〃        | 〃        | 〃          | 畑                       | 斑鉄あり                |                         |
| 平坂       | 灰～青灰     | 〃    | 〃         | 砂～壤質 | 砂質   | 〃     | 〃     | 〃        | 〃        | 水田         | 50～30 cm以下グ<br>ライ層 斑鉄あり |                     |                         |
| 黒泥土      | 黒泥土壌     | 菱池   | 灰～黒       | 〃    | 〃    | 粘質    | 粘質    | なし       | 集積       | 植物<br>遺体   | 水田                      | 斑鉄あり                |                         |

## Ⅳ 土地利用現況

師崎および蒲郡図幅に含まれる12市町村の土地利用の現況を、土地利用現況図およびⅣ-1表からみると、次のように要約出来る。

本図幅の第1の特徴は、農地の展開が目立ち、これが最大の面積を占めていることである。その農地については、水田が最も目立ち、全耕地面積の57%と過半を占めている。水田は、蒲郡図幅の北西部に当る西尾市、一色町および吉良町にとりわけ目立ち、水田率は、それぞれ72%、71%および64%と高い水準にある。また知多半島では、河川の開析谷に沿って小規模とは言え、かなりの展開がみられる。

また水田に次いで耕地面積の27%を占める畑地は、蒲郡図幅の北西部に当る一色町や吉良町に、また知多半島では点在するとは言え南知多町を中心に、また田原町にその展開が目立つ。

果樹園については、柑橘類栽培を中心として、その展開が目立ち、本県の主要な果樹作地域となっている。それは、とりわけ蒲郡市と吉良町、また新たな農地造成が計られた知多半島の中央部を中心として美浜町および南知多町に目立つ。なかでも蒲郡市、美浜町および南知多町では、果樹園地率が76%、39%および27%と高率を示している。それはとりわけ蒲郡市に顕著で、ここでははいよかんやキウィフルーツ等の導入による高級品化や施設園芸による早期出荷等により、高収益化に努め、例えばハウスみかん栽培農家数は、1984年現在全農家の17%に当る315戸、栽培面積は80haに上っている。

また農地に次いで森林が第2位の面積を占めている。森林は、山地地域でもある蒲郡図幅の北部地域に当る幡豆町および幸田町に、また師崎図幅の知多半島部地域にとりわけ目立つ。ともにほとんどが天然林であるが、開発が及び易かった前者では、針葉樹が、また後者では、知多半島の北部地域および先端部地域を結ぶ東部地域を中心に針葉樹が、一方半島の南西部地域では広葉樹が目立つ。人工林は、以上からも推測されるように前者に属する幡豆町、幸田町および吉良町に、点的に展開している。

これに次いで目立つのが住宅地域である。それは、とりわけ蒲郡市を中心として、一色町および国道247号線沿いに、また知多半島では、野間、内海、豊浜、師崎、河和等の市街地とそれを結ぶ沿岸道路沿いに目立つ。また宅地化の進展した蒲郡市の臨海埋立地に住宅地が造成されている点には留意したい。

また工業地域の展開は、かならずしも多くない。この傾向は、とりわけ知多半島に顕著である。しかし蒲郡市およびとりわけその臨海埋立地域に、また衣浦港工業地域に続く武豊町の臨海埋立地域に、その展開が目立つ。また幸田町、幡豆町および蒲郡市には、採石業とその跡地の展開がかなりみられる。

またこの地域は、知多半島をはじめとして漁業も盛んであり、養殖業としては、のり養殖も目立つが、矢作川河口部の右岸地域を中心として、鰻養殖場の展開もみられる。特に沿岸漁業やのり養殖の不振、また1970年以降の水稻の生産調整の影響もあって、養鰻業の拡大が計られたが、近年台湾を中心とする輸入攻勢にもさらされ、退潮化傾向が否めない。

またこの地域は、温泉をはじめとして、海水浴、潮干狩、フィッシング、ゴルフ等のレジャー施設が展開し、本県をはじめとした主要なリゾート地域となっている。蒲郡市の西浦温泉地域、野間や内海等に代表される海水浴場、知多ゴルフ場、南知多ビーチランド、愛知子供の国等は、この好例である。また文教施設の移転、特に南知多町に大学が移転したことは特筆に値しよう。

## 参 考 文 献

愛知大学中部地方産業研究所編（1982）、『東三河の経済と社会第3輯』、  
愛知大学中部地方産業研究所

青野寿郎・尾留川正平編（1969）、『日本地誌第12巻、愛知県・岐阜県』  
二宮書店。

安藤萬寿男・伊藤郷平・佐々木清治・山岡政喜編（1969）、『日本地誌ゼ  
ミナールⅤ東海地方』、大明堂。

大明堂編集部（1983）、『新日本地誌ゼミナール4中部地方』、大明堂。

中日新聞開発局編（1976）、『愛知百科辞典』、中日新聞社。

第Ⅳ－１表 地目別土地利用及び農業経営の状況

|      |       | 農家数<br>戸 | 経営耕地面積  |         |         |           | 森林<br>面積<br>ha | 工業<br>用地<br>面積<br>ha | 宅地<br>面積<br>ha |
|------|-------|----------|---------|---------|---------|-----------|----------------|----------------------|----------------|
|      |       |          | 計<br>ha | 田<br>ha | 畑<br>ha | 樹園地<br>ha |                |                      |                |
| 碧南市  | 1970年 | 2312     | 1464    | 862     | 597     | 5         | 5              | 72                   | 461            |
|      | 1985年 | 1754     | 1084    | 493     | 544     | 47        | 0              | 245                  | 475            |
| 西尾市  | 1970年 | 5288     | 3765    | 2693    | 831     | 241       | 350            | 189                  | 737            |
|      | 1985年 | 4713     | 3087    | 2236    | 614     | 237       | 287            | 272                  | 788            |
| 蒲郡市  | 1970年 | 2519     | 1259    | 404     | 154     | 702       | 1966           | 86                   | 470            |
|      | 1985年 | 1859     | 993     | 141     | 96      | 756       | 1772           | 82                   | 478            |
| 常滑市  | 1970年 | 2390     | 1454    | 1108    | 277     | 68        | 948            | 86                   | 376            |
|      | 1985年 | 1642     | 926     | 707     | 182     | 37        | 762            | 76                   | 428            |
| 南知多町 | 1970年 | 1605     | 1058    | 405     | 244     | 410       | 1647           | 1                    | 161            |
|      | 1985年 | 949      | 613     | 237     | 139     | 237       | 1348           | 2                    | 162            |
| 美浜町  | 1970年 | 1605     | 1248    | 823     | 157     | 268       | 1525           | 21                   | 179            |
|      | 1985年 | 1341     | 1012    | 603     | 133     | 276       | 1337           | 31                   | 206            |
| 武豊町  | 1970年 | 1088     | 640     | 441     | 177     | 22        | 420            | 306                  | 144            |
|      | 1985年 | 762      | 417     | 271     | 116     | 30        | 374            | 329                  | 183            |
| 一色町  | 1970年 | 1765     | 1013    | 708     | 290     | 15        | 59             | 14                   | 15             |
|      | 1985年 | 1387     | 750     | 531     | 209     | 10        | 57             | 3                    | 214            |
| 吉良町  | 1970年 | 2192     | 1491    | 978     | 307     | 206       | 949            | 112                  | 231            |
|      | 1985年 | 1827     | 1144    | 732     | 260     | 152       | 871            | 30                   | 234            |
| 幡豆町  | 1970年 | 924      | 378     | 207     | 81      | 90        | 1641           | 4                    | 94             |
|      | 1985年 | 584      | 223     | 128     | 35      | 60        | 1420           | 4                    | 106            |
| 幸田町  | 1970年 | 2017     | 1395    | 1047    | 217     | 130       | 2770           | 45                   | 214            |
|      | 1985年 | 1808     | 1090    | 817     | 137     | 136       | 2549           | 68                   | 281            |
| 田原町  | 1970年 | 2697     | 2791    | 1164    | 1325    | 301       | 2329           | 23                   | 280            |
|      | 1985年 | 2250     | 2248    | 815     | 1256    | 177       | 2185           | 345                  | 357            |

備考：農家数、経営耕地面積は1970年および1985年の農業センサスによる。森林面積、工業用地面積および宅地面積は愛知県企画部資料による。ただし工業用地面積は1984年の数値である。

1988年3月 印刷発行

愛知県土地分類基本調査

**師崎・蒲郡**

編集発行 愛知県企画部土地利用調整課  
〒460 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
印 刷 東洋地図株式会社  
〒462 名古屋市北区猿投町38の3